

開会挨拶

▶ 木村 良己（京都高大連携研究協議会運営委員長／同志社中学校・高等学校校長）



ただいま、ご紹介にあずかりました木村でございます。ようこそ京都においでいただきました。第16回高大連携教育フォーラムの開催にあたりまして、主催者を代表して、一言ご挨拶申し上げます。

本フォーラムは、毎年、高等学校、大学間の接続教育における国内動向の情報共有、そして、京都における取組の情報発信及び事例研究、これらを目的として開催してまいりました。

今年度は、昨年度に引き続きまして、「いま育成すべき力は何かをともに考えるⅡ～高等学校・大学の役割～」。これをメインテーマとして、2018年3月に告示されました次期高等学校学習指導要領や、2019年度から「高校生のための学びの基礎診断」が導入されますことを踏まえながら、高大接続の在り方を探るべく、「次期高等学校学習指導要領と高大接続の本質」をサブテーマに設定いたしました。

実は今年、例年以上のご好評をいただいたのでしょうか。たくさんの方々にお集まりいただきましたものですから、急遽、映像音声配信会

場を設けて、定員を増員させていただきました。

北は北海道から南は九州、沖縄まで、全国から330名弱の方々をお迎えして開催させていただきます。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

その一方で、映像音声配信会場、いま見えているでしょうか。そちらにいらっしゃる方々におかれましては、映像と音声でのご視聴ということになりますし、また、この本会場の皆様におかれましても、ぎっしり詰まっていて、環境的にはあまりよろしくない状況ではございますが、この場をお借りしてお詫び申し上げ、お許しいただきながら、この会を進めてまいりたいと思います。

本日のフォーラムが皆様お一人お一人にとって、新たな発展の場となり、そしてこれからの教育活動にぜひ活かしていただきたい。そのことをお願い申し上げたいと思います。

最後になりましたが、ご多用中にもかかわらず、本フォーラムでのご登壇にご快諾いただきました先生方、また、この場にお集まりいただきました全ての皆様に感謝申し上げますとともに、皆様のますますのご活躍をご祈念申し上げます。開会のご挨拶に代えさせていただきます。

本日はようこそおいでいただきました。ありがとうございます。

